

熊取町議会委員会会議録

議会改革検討特別委員会

令和3年9月15日開催

熊 取 町 議 会

目

次

[議会改革検討特別委員会]

熊取町議会に関する住民アンケート調査の実施について	1
新規改革事業の追加及び既存事業の改善について	5
その他	8

議会改革検討特別委員会

月 日 令和3年9月15日（水曜）招集

場 所 熊取町役場議場

出席委員	委員長	二見裕子	副委員長	矢野正憲
	委員	田中豊一	委員	浦川佳浩
	委員	文野慎治	委員	江川慶子
	委員	坂上巳生男		

欠席委員 なし

事務局 議会事務局長 藤原伸彦 書記 瀬野裕三

付議審査事件

- 1) 熊取町議会に関する住民アンケート調査の実施について
- 2) 新規改革事業の追加及び既存事業の改善について
- 3) その他

委員長（二見裕子君）皆さん、こんにちは。

皆様方には、本特別委員会にご出席を賜り、ありがとうございます。

委員会の開会に当たりまして、私から一言ご挨拶を申し上げます。

本特別委員会は令和元年9月30日に設置し、この間、矢野委員長の下、議論を重ねながら議会改革を進めてまいりましたが、去る5月18日開催の第2回臨時会において委員の交代があり、私がこの特別委員会の委員長を務めさせていただくことになりました。

現在の地方自治体は少子高齢化に伴う人口減少社会の下、行財政運営は困難に直面し、議会に求められる役割はますます重要なものとなっています。私たちの任期も2年を切っております。残された任期の中でしっかりと議論を重ね、議会改革につながる結果を出すことがこの委員会に求められている責務であると考えております。

本委員会委員に新たな議員も就任いただいておりますが、熊取町の議会発展のため、全委員にご尽力を賜るとともに、忌憚のない意見を出していただきながら実りある議論を重ねていただきたいと思いますので、よろしく願い申し上げます。

本特別委員会では、理事者の出席は求めておりません。

ただいまの出席委員は7名全員であります。定足数に達しておりますので、ただいまから議会改革検討特別委員会を開会いたします。

（「15時01分」開会）

委員長（二見裕子君）本日の議案は、熊取町議会に関する住民アンケート調査についてほか1件であります。

なお、発言される方は、挙手の上、着座で、マスクをつけたまま、マイクを使っていただきますようお願いいたします。

それでは、案件1、熊取町議会に関する住民アンケート調査の実施についてご審議いただきたいと思っております。

熊取町議会に関する住民アンケート調査については、本特別委員会設置の目的であります議会機能の強化、開かれた議会の実現のため、議会改革について必要な調査として、委員会設置当初から本アンケートの実施に向け、その内容等について委員間また会派内で検討、議論をいただき、事務局でその実施案を取りまとめていただきましたので、事務局より、熊取町議会に関する住民アンケ

ート調査実施概要について説明をお願いいたします。藤原議会事務局長。
議会事務局長（藤原伸彦君） それでは、住民アンケート調査実施概要についてご説明させていただきます。

1点目、目的でございますが、資料に記載のとおり、ここ近年、社会経済情勢は大きく変動し、少子高齢化の進展による人口減少社会となった今日、地方自治体の行財政運営は困難に直面し、議会に求められる役割もますます重要なものとなっています。このような状況の下、議会機能の強化、効率的な議事運営等議会改革の推進に努め、より一層開かれた議会を目指すための調査、検討を行うことを目的としております。

2点目の調査概要でございますが、まず調査対象でございます。熊取町在住の18歳以上の方。調査方法につきましては、1点目は、パブリックモニター85名を対象にアンケート用紙を郵送配付し、郵送にて回収するものでございます。2点目は、公共施設にアンケート用紙とアンケート回収ボックスを配架し、来館者の方々が自由に回答できるようにしております。設置を予定している公共施設は、図書館、煉瓦館、ひまわりドーム、ふれあいセンター、住民情報の5か所としております。そのほか町議会ホームページにアンケート用紙を掲載し、メールに添付していただいて回答いただく方法もできることとしております。

次に、調査期間ですが、令和3年10月1日から10月31日の1か月間。集計結果は、12月8日水曜日、議会改革検討特別委員会のほうで掲示予定としております。

次に、3点目の調査内容でございますが、大きい項目として10項目、設問1では回答者の属性、設問2では議会に対する住民意識、設問3では議員に対する住民意識、設問4は議会報告会について、設問5は議会だよりについて、設問6は議会ホームページについて、設問7は議会インターネット録画配信について、設問8は議員定数について、設問9は議員報酬について、設問10は自由意見としており、全29項目となっております。実際に配布するアンケート用紙等は同フォルダー内にアップロードしておりますので、ご確認ください。

以上で、住民アンケート調査実施概要についての説明とさせていただきます。

委員長（二見裕子君） それでは、熊取町議会に関する住民アンケート調査につきまして、委員の皆様からご意見を承ります。

そうしましたら、皆様、ご意見のほうをお1人ずつ言っていたらなというふうに思っておりますので、まず田中豊一委員、どうでしょうか。

委員（田中豊一君） 住民アンケートということで、議会の状況、住民の反応、議会で行っているいろいろな広報とかPRとかネット配信だとかそういうことを利用状況や関心とかそういうことをつぶさに調べるということでは重要なことと思っております。

最後に、議員定数と議員報酬ですけれども、これで集めた情報をどういうふうに扱うかというのがポイントになってくると思うんで、そのあたり、各委員のほうで考えておいていただいて、次にこれをどう反映するかということを進めていただきたいなというふうに考えております。

以上です。

委員長（二見裕子君） それでは次に、浦川委員。

委員（浦川佳浩君） 議会改革検討委員会ということで、全般的な議会改革について住民の意見を募って、それを反映していくというような流れの一環としてこういったアンケートをお願いするものであるかと思うんですが、住民の方々に対してのご負担をあまりかけずに、かつやはり一つの指標として住民の意見をお伺いするという形では、こういったモニターに対してご協力いただいて、項目も大きな項目で10項目、全詳細29項目ということで、全般的に議会に対して議員に対してということで項目も非常に適正な数として様々なご意見をいただけるのかなという意味では、住民に対してのご協力ということで、ぜひこちらのほうで進めていただけたらなというふうに思っています。

以上です。

委員長（二見裕子君） ありがとうございます。

それでは、文野委員、どうでしょうか。

委員（文野慎治君）この間、議員間で議会改革というテーマを本当にずっと抱えながら、前矢野委員長、現二見委員長の下で、こういう一つの住民の議会に対する率直なご意見等をお伺いをしようという形で、こういう形で今示されている状況をまずはたくさんの方のご協力をいただきながら、受け止めた結果については、それをまた参考に議員間での議論を深めていきたいなというふうにただ思っています。

ただこの中にもあります議会報告会等が、これは全ての町政に関わることでございますけれども、やはりコロナ禍という状況の中で、現実、議会報告会というのは議会基本条例の一つの大きな柱として生み出されたものでありますけれども、それがこの2年弱、全く実施されていない状況というのがアンケートの結果でどう反映されるのかなというふうな危惧はあるんですけれども、やはり熊取町の議会は議会基本条例を制定している議会として、ここに書かれてあるそれぞれのことを精いっぱいやってきたということも住民の方にはぜひご理解をいただきながら、足らずについてご意見あるいは考え方、我々議員としての考え方もそこにまた合うような形で、先ほど田中豊一委員がおっしゃっていましたが、定数にしろ報酬にしろ、そういう住民の皆さん方のこのアンケート結果というものが出来たときに、やはり我々議員として大いに参考にしながら深みある実直な検討をやっていくことが非常に大切だというふうに改めて今感じておりますので、このアンケートを本当に、冒頭申し上げましたように、たくさんの方、基本的にはホームページからも意見をいただけるような形になっていきますので、そういうことを議員も呼びかけながらやっていけたらなというふうに今感じております。

以上です。

委員長（二見裕子君）ありがとうございます。

次に、江川委員。

委員（江川慶子君）この住民アンケート、コロナ禍の中で、今、議会のことがどのように見えているのか、開かれているのか、分かりやすくなっているのかという視点でアンケートを取るということは、ちょっとコロナ禍で動けてない部分があるんで不安も感じながらですが、とても大事な点。それを、平常ではないので、そこでどう考えていくかというものをそこで考えていけるような一つになっていくのではないかなと感じています。

平常でないというところでは、今先ほど文野委員も言われましたんですけれど、議会報告会はされていないんで、そのこともちょっと一言コメント、ここ、横に書いておいたほうがいいのかと、そのほうが親切かなというのと、あと最後に資料を入れてくださっていますよね、全国町村議会の人口区分別報酬額及び定数集計表というのを。これとても参考資料だと思うんで、何か8の議員定数、9の議員報酬のところ、後ろに資料ありみたいなのがちょっと書いてあれば、そこを見てもらいながら検討してもらえん違うかなとか思っています。どのように今の議会を住民が見ているかと。このコロナの中で厳しい言葉もたくさん来るとは思いますけれども、真摯に受け止めて検討していければいいなと思っています。

以上です。

委員長（二見裕子君）ちょっとお聞きしたほうがいいですかね。江川委員の今おっしゃっていた、今、報告会がなされていないということであったりとか、あと資料の提供がありますよという文言につきましては、アンケートの調査の書かれるところに、後ろに参照ありますよというのを入れたほうがいいのかというご意見でよろしいですか。江川委員。

委員（江川慶子君）質問のところに横にちょっと注釈みたいな感じで書いてもらえたらと。だからアンケートの6ページですね。6ページ違うわ。

委員長（二見裕子君）11ページですか。江川委員。

委員（江川慶子君）議会改革アンケートの調査の最終案の議会報告会は7ページですね。今現在いきなり「議会報告会に出席されますか」と書かれているんで、いや今できてないんやということもちょ

っとコメント入れとかなないと、やっているのかという感じで思われるかなと、いきなりこれが来るとね。

委員長（二見裕子君）参考の一番下。江川委員、7ページの下のところには実施、「3班に分けて」と書いていて、「現在は、コロナ禍のため」と、ここには入れてもらっているんですけど、これどうですか。分かりにくいですかね。江川委員。

委員（江川慶子君）そうやね。下まで見てくれたらいいね。

委員長（二見裕子君）例えば、「現在はコロナ禍のため、議会報告会は開催していません」というのが議会報告会についての横に書いていただいているということですかね。参考として……。江川委員。

委員（江川慶子君）以下参照みたいな感じで、参考みたいな感じで下に書いてもらってね。

委員長（二見裕子君）何かちょっと下に目を行っていただけるものがあつたほうがいいということですかね。江川委員。

委員（江川慶子君）そうですね。そんな感じです。書いてあつた。すみません。

委員長（二見裕子君）分かりました。ちょっとまたその辺は事務局のほうで分かりやすいようにしていただく方向でしていきたいと思いますが。江川委員。

委員（江川慶子君）あと11ページ、8と9についても、資料ありみたいな。

委員長（二見裕子君）それも下に一応書いてはいただいているんですけど。江川委員。

委員（江川慶子君）横にね、横に。

委員長（二見裕子君）これも横ですか。江川委員。

委員（江川慶子君）ちょっと検討していただけたら。

委員長（二見裕子君）目立つということですね。見やすいようにということですよ。下だとなかなか見にくいところですよ。ちょっとその辺また事務局のほうに検討していただくようお願いいたします。分かりました。

それでは、坂上巳生男委員、お願いいたします。

委員（坂上巳生男君）これまで準備会で種々議論をしてきて、そしてまた事務局にもいろいろとお骨折りいただいてアンケート調査用紙は何とか整ったわけで、これについては内容的にはもうこれで特に異論はございません。

あとは調査対象となる方の、またパブリックモニター85名の方とか、あとアンケートボックスへ自由回答で回答していただく方、その他いろんな方々からの回答がよりたくさん集まるようにきちんとPRしていく必要があるかなと思います。日程的にも限られていますので、10月1日から1か月ありますけれども、その間により多くの方々がアンケートに答えていただけるように我々議員各位も自分の個別のつながりでアンケートに回答していただけるようにPRしていきたいと、そういうふう感じております。

以上です。

委員長（二見裕子君）ありがとうございます。

そうしましたら、矢野委員のほうからお願いいたします。

委員（矢野正憲君）本来なら、コロナがなければ、こういったアンケートというのは議会報告会をしながら多くの皆様に参加をしてもらった皆さんにその場で書いてもらうというふうな作業をするのが一番いいのかなというふうには思っておりますし、以前もそういったことをやったことあるかなというふうには思っておるんですが、コロナ禍での状況で、今で言うたらウィズコロナ、コロナが終わった後のアフターコロナというふうな状況も見据えて、今できることとこのアンケート調査でしっかりとやっていきたいなというふうには思いますし、またアンケート調査の中で住民の皆さんの潜在意識を掘り起こしたいなというふうには思いますし、大いに参考にしたいなというふうにも考えておりますし、文野委員がおっしゃった深みある議論になればいいなというふうには思っております。

あと、やり方というのは皆さんと大体同じで、やはりアンケートできますよというふうなコマー

シャルもやっぱりしっかりとやっていきたいなと、その辺は考えております。その辺は多分皆さんとそんなに変わらない、そういった感じだと思います。

以上です。

委員長（二見裕子君）ありがとうございます。

皆様からいただいたご意見、集計に関しては集計された意見をどう取り扱っていくかというところでしっかりと議論を深めていこうというものにしていこうということと、あと、そうあるのであれば、より多くの方にしっかりと議会のことを知ってもらいながらこのアンケートをやっただくということで、どのように多くの人にやっていただけるかというところが議会にとってちょっと一つの目安というんですか、やってもらうことがいろんなお声をいただくというふうになるのかなというふうに思っておりますので、その辺は議員の皆様とご協力をしながら、しっかりアンケートをやっていますということもアピールしていきたいなというふうに思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、お諮りいたします。熊取町議会に関する住民アンケート調査につきまして、事務局案、ちょっと修正をさせていただく項目が入りましたけれども、このアンケート調査について実施することにご異議はありませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。よって、熊取町議会に関する住民アンケート調査を実施することに決定をいたしました。

熊取町議会に関する住民アンケート調査の結果につきましては、ホームページで公開するとともに、議会改革への町民の声として所期の目的であります議会改革の検討のための資料としてしっかりと議論をしてまいりたいというふうに思っておりますので、よろしくお願ひをいたします。

委員長（二見裕子君）続きまして、案件の2、新規改革事業の追加及び既存事業の改善についてご審議いただきたいと思ひます。

先ほどのご挨拶でも申し上げましたが、委員の交代もあったところでございます。既に調査、検討に取り組んでおりますので、その項目のほかに新たに本委員会において調査、検討に取り組む項目についてご意見をいただきたいと思ひますが、またすみません、順番にご意見のほうをちょうだいしたいと思ひます。

まず、田中豊一委員、どうでしょうか。

委員（田中豊一君）この間、準備会で話の出たLINE、これは町のほうもLINEのそういういろいろ住民の声を集めたり、また発信されるということもやっていますんで、それはやっていったらいいのかなと思ひますけれど、事務作業が多分増えると思うんで、そのあたりをどうするかというのが1点と、それと、LINEのことをちょっと調べておりましたら、これを取り入れた今年2月からこの8月までの間で、いろいろLINEについては個人情報漏えいの関係とかあって6か月止まっていたということがありますんで、もしこれをやるのであれば、もう少し町の情勢、住民の活用、アカウントのアプリの住民の利用の状況をよく見た上でやるのがいいのかなというふうなことで考えておりますんで、そのあたりの解決がある程度されてからのほうがいいかなというふうに考えていますけれども、何らかホームページを見ることができない方がもっと簡単にスマホで情報を仕入れたり発信できたりするような方法が住民のほうに声が届く、また住民の声が我々のほうに届くという、そういう手段としては重要なことと考えています。

以上です。

委員長（二見裕子君）ありがとうございます。

それでは次に、浦川委員。

委員（浦川佳浩君）準備会等でこれまでも議会からの情報発信というところを検討していく必要があるのではないかとということで何回か議論させていただく内容の中で、議会報告会についてもやはり住

民に対しての情報発信という意味ではその中に含まれるのかなというふうに思っていて、議会報告会についても非常に助かると、やっていただきたいという住民もいれば、一方で、やっぱり住民に対してのご負担というところといったそういった声も聞くので、そのあたりも議会からの情報発信というところで、こういった検討委員会を通して議論すべき内容に入っているのかなというのが1つ。

情報発信の仕方についてSNSを通して発信していくというような流れが主流になっていく中で、それも併せてどういう方法でやっていくのかというのを今後ちょっと検討していく必要があるのではないかというふうに感じています。

以上です。

委員長（二見裕子君）ありがとうございます。

次に、文野委員。

委員（文野慎治君）お2人の意見とも重複をします。この間の準備会でいろんな項目としてはいろいろ出てきたと思うんですね。ただ委員長の初めのご挨拶にもあったように、我々の任期がもう2年を切っているということもありますし、その中で今回アンケート、定数問題、報酬問題というのは、これは長年の課題の中でそういうのがこれから議論としていっぱい出てくるということと、先にお2人からあったように、情報発信のこともやはり宿題として残っています。そういった意味で、行程表等も本当に結構ハードな日程にならざるを得ない中で、どれだけ今のこのメンバーの中で実施をできるものを、道筋をつくるものを、そういったことも途中の中では必要になってくるんじゃないかなと。やはりこのあとの残りの任期の中は今のこのメンバーで議会改革というものをやはり担っているわけですから、そういう意味で、多少ハードにはなっても極力今まで出てきているような問題について1つの答えというか考え方の方向性を議会として一丸となつてこういう議論をやったんだという形は最大限残していきたいと思っています。

そういう意味で、その時々、それこそ情報発信なんですけれども、こういう議論の経過等についても住民の皆さん方にオープンな場で、今ここまでこういう議論はしているんだというようなことも含めて分かるような、今こういうネットがありますんで、そういう報告も含めてやっていけたらいいんじゃないかなというふうに思います。ただ時間は本当に、やらないかなんと思っていることはそれぞれの議員の頭の中ではいっぱいあるんですけれども、それを本当にハードですけれども覚悟を決めてやっていくということの意思統一が今時点ではまず必要ではないかなと、このように思っています。

以上です。

委員長（二見裕子君）ありがとうございます。

次に、江川委員。

委員（江川慶子君）SNS、LINE、これから重要なものになっていくというふうに認識はしているんですが、何を発信するかというところがやはりとても難しいなど。今、町が出しているのも緊急事態のことやとか感染情報がLINEで流れてくるのが主で、町議会から流すとなると、平常であれば議会報告会、ここからいつありますよとか自由にご参加くださいとかという発信はできるんだろうけれども、今の状態で何が発信できるのかなというのはちょっと難しいかなと。だから誰が担当するのか、内容は中立でなければいけないという部分もあるだろうし、そういった方法というのは、もう皆さんもおっしゃっているんやけれども、ちょっとよく検討していかないと難しいかなと思いました。

それと、政策検討会という、これは住民も含めたものではなくて議員間の自由討議ということか。そういうことなんやな。すみません。平常に戻ったならば、議会報告会と併せて住民の意見を聞けるような場を設定できたらいいかなというふうに思ったんで、今、言わせていただきました。

以上です。

委員長（二見裕子君）ありがとうございます。

それでは、坂上巳生男委員、どうですか。

委員（坂上巳生男君）議会の情報発信という点では、私はSNSとかLINEとかそういうことはあまり詳しくないんで、特に必要性ということも、議会のLINE、全くイメージが湧かなくて、実際それやっているとところも少ないようですし、研究する価値はあるかなとは思いますが、今すぐLINEでどうのこうのというそういう考えは私は特にないんですが、議会報告会に関しては、現在コロナの下で中止が続いているんですけども、これをこれまでの議会報告会の内容等についてきちんと総括して、今後の議会報告会をどうしていくかということについてはそれなりの道筋を考えていかないといけないというふうには感じています。なかなか難しいですけどね。

議会報告会、浦川委員もおっしゃいましたが、住民の方々から見てもこれまでの議会報告会の開催は各区、自治会の役員の方々にご負担いただいて開催してきたということもあって、正直、ないほうありがたいと、そう思っておられる方もあるとは思いますが、また一方で、議会報告会を歓迎していただいて、議会報告会でいろんなことが住民の要望を聞いていただけるということでうれしく思っている方もありました。また、議会報告会の中で出た様々なご意見、要望を町議会で取り上げて、それが一定改善に結びついたというふうなこともありましたので、また我々自身も住民の中に出て行って、熊取町、様々な地域の細かい地域情報を収集して議会の活動に役立てるという面もありましたので、今後の議会報告会をどうしていくか、これはきちんと現在休止している間にそれを整理しておくべきかなというふうには感じています。そんなところですかね。

委員長（二見裕子君）ありがとうございます。

そうしましたら、矢野委員。

委員（矢野正憲君）ここに書かれているのは5つの項目になっておりますけれども、いろいろな議会だけではなくて世の中のことがアフターコロナで変わってくるというふうに言われていますから、そういった意味で考えると、この5つだけじゃなくて、いろんなことに積極的にチャレンジすればいいのかなというふうには思っております。

議会だよりの構成の変更というのは、文野委員がよく言うてくださっていることなので、やはり審査基準にちょっと今のところは則していないというふうなことも聞いておりますので、そういったことも積極的にやればいけないかというふうには思いますし、議会報告会の在り方について、やはりもう10年以上たっている中でのところですから、再度組み直しはしてもいいのかな、この1年間は各種団体との意見交換、この1年間は何をするというふうな形でもいいのかなというふうには思います。

あと情報発信というのは、いろいろと話は出ておりましたけれども、誰がするんだというふうなこともありました、そういったことも踏まえてやっていけばいいだろうなというふうには思います。

政策の討論会というのも我々議員同士でというふうなことでありますし、あと下の議員常駐による相談会というのも、議員の負担が増えるというのは間違いないことなので、この辺はまた持ち帰って仲間と話したいなというふうには思っております。

いずれにしても積極的にチャレンジをすればいいのかなと個人的には思います。

委員長（二見裕子君）ありがとうございます。

一応準備会等様々なところで議員間で意見が出たものを少しお示しをさせていただいて、今、ご意見のほうもいただいたかなというふうには思っております。

議会報告会が今取られてない現状におきまして、その議会報告会が地域の実情をお聞かせ願える場であったところが、なかなかそこができないというところの問題点であったりとか、今後、じゃ、どんなふうに議会報告会また議会として発信していけるものはどういうことなのかというところも含めまして、項目様々出させていただいておりますが、全ては議会としてのしっかりと住民の声を反映していくためのものとして情報発信であったりとか議会だよりの構成であったりとかというところであるのかなというふうには思っております。

それと、相談会というところも、今、議会報告会が取れない中で、じゃ、住民がいつでも議会に来ていただければ誰かがいて声を聞けますよというようなことも少し必要なのかなというふうなところで出てきた声であります。

それと、政策討論会は議員間の自由討議ということで、以前にもそういうお話が議員のほうでされていたのかなというふうには思うんですが、1つのテーマ、また議員を2つに分けて2つのテーマ、それをそれぞれのテーマに基づいて1年間かけてテーマに即して話していただく、また他市の事例を用いながらやっていただくということも踏まえながら、その内容でもって議会が1本になって理事者側にしっかりとこのような案件については見直していただきたいというものも含めまして、何かそういう議会でもっての自由討議しながら政策討論の場となるようなものも必要かなというふうな声もありましたので、一応この項目は出させていただいております。

今日、様々皆さんからご意見もいただきましたので、これも各会派に持ち帰っていただいて審議をしていただき、次回の本委員会において意見の集約をしながら、どのようにやっていくかということも決めていきたいなというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上で、本日の案件のほうは終了いたしました。

委員長（二見裕子君）その他でございますが、第1回目、本委員会において決定いたしました調査項目のうち、タブレット端末につきましてはもう既に導入されておりますが、定数、報酬及び通年議会について引き続き検討を重ねていく必要がございます。これらの項目について検討を進めていくに当たり、一定の期限をもって結論を出す必要がありますので、そのスケジュール感につきまして事務局から説明をお願いいたします。藤原議会事務局長。

議会事務局長（藤原伸彦君）それでは、その他といたしまして、議会改革推進事業項目別行程表についてご説明させていただきます。

本特別委員会につきましては、令和元年9月30日に設置し、現在も継続して議会改革についての議論を重ねていただいております。設立時の矢野委員長が重点的に進めてこられました項目の経過も含めまして、今後の行程案についての概要を説明させていただきます。

まず、1項目めの議会ペーパーレス化（タブレットの導入）につきましては、泉大津市への行政視察をはじめ会議システムの研修会などを経て、令和2年6月補正で予算を確保し、令和2年12月議会からタブレットを導入し、議会運営をいたしております。

2項目めの通年議会につきましては、島本町、河南町への行政視察を行うとともに、会派、特別委員会においても議論を重ねておりますが、統一した方針がまとまっておらず、現時点においても継続調査となっているところでございます。令和3年中に方針を決定いただくスケジュールを示させていただきますので、引き続き議論をよろしく願いいたします。

3項目めの議員定数及び4項目めの議員報酬につきましては、議員皆様方を対象にしたアンケートを2回実施し、委員会設立当初からも現在も議論を重ねられておりますが、方針等の決定に至っておりません。令和5年の統一地方選挙を見据え、議員定数につきましては令和4年6月議会、議員報酬につきましては令和4年12月議会の関係条例の上程を期限としたスケジュール案を示させていただきますので、引き続きご審議のほうよろしく願いいたします。

以上が現時点で議論いただいております改革項目でございますが、先ほどの案件2で提案されました項目や、また10月に実施予定の住民アンケート調査結果も踏まえまして新たに追加する事業また改善すべき既存事業の抽出を行いまして、令和4年から議論を進めていく旨のスケジュール案も示させていただきますので、よろしく願いいたします。

以上、行程表の説明とさせていただきます。

委員長（二見裕子君）このことにつきまして、委員の皆様から何か質問のほうはございますでしょうか。

大丈夫ですか。矢野委員。

委員（矢野正憲君）通年議会の導入についてであります。

私が委員長をさせてもらっているときに決を取った中では多数に至らなかったという形で、その場ではもう少しというふうなお話をさせていただいておったんですが、賛成を考えていただいていた重光さんがお亡くなりになられてというふうなことに今現状ありますので、なかなかこれ大きく多数を取れるような状況では今なくなってきたなというふうにはちょっと認識はさせていただいているんで、皆さんの総意で、どこぞで決を取るような、そういったことをもう一度決を取って削除するというようなことも必要になってくるのかなというふうにはちょっと思っておりますので、またよろしくお願ひしたいと思ひます。

委員長（二見裕子君）住民アンケートのほうを取らせていただいておりますので、ちょっと通年議会についてというところにはあれなのかもしれませんが、そのあたりも踏まえながら住民アンケートを受けた段階でしっかりと通年議会については決めていくべきかなというふうに私のほうは思っておりますが、ほかには意見はありますでしょうか。どうですか。よろしいですか。

ほかに何か質問はございませんか。

そのほか何かあれば承りますが、大丈夫ですか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、以上で議会改革検討特別委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。ありがとうございました。

（「15時42分」閉会）

以上の委員会の次第は議会事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するため、ここに署名する。

議会改革検討特別委員会委員長

二見裕子